

第4回 みなまた地域創生ビジョン研究会議事次第

日 時：平成28年7月7日（木）14時00分～16時00分

場 所：水俣環境アカデミア（水俣市南福寺6-1）

議事次第：

1. 開会
2. 議事
 - (1) 第3回の意見の概要報告について・・・資料2
 - (2) (仮称) 3世代育み健やかタウンについて・・・資料3、資料4
 - (3) めざす地域社会像について・・・資料5
 - (4) その他
3. 閉会

配付資料：

- 資料1 委員名簿
- 資料2 第3回の意見の概要
- 資料3 (仮称) 3世代育み健やかタウンについて (案) 概要版
- 資料4 (仮称) 3世代育み健やかタウンについて (案)
- 資料5 めざす地域社会像について (案)

みなまた地域創生ビジョン研究会 委員名簿

(50音順、敬称略)

石原 明子 熊本大学大学院社会文化科学研究科准教授

植木 誠 早稲田大学パブリックサービス研究所招聘研究員

勢一 智子 西南学院大学法学部教授

永松 俊雄 崇城大学教授

深水 陽子 深水医院副院長

藤本 有希 一般社団法人ハートリレープロジェクト ファウンダー

牧迫 飛雄馬 国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター
予防老年学研究部健康増進研究室長

松永 裕己 北九州市立大学大学院マネジメント研究科教授

第 3 回の意見の概要

(1) めざす地域社会像の方向性と課題について
(3 世代を育む健康なまち)

【松永委員】

- ・方向性は、全体像としてわかりやすく、絞れていて、懐が深く、いろいろなものが含まれるものになっている。
- ・課題は、参加する子供や高齢者などの動機づけをどうデザインしていくかが重要。例えば、お年寄りの方には、教え方やコミュニケーションの仕方を身につけてもらったり、デザイン、仕掛け、ツールの準備が必要。そうしないと、「昔はね……」、「大体最近の若いやつは……」というトーンになりがち。
- ・課題は、クリアできそうなものを設定する。個人の目標・地域の目標を明確にする。ゲームのように、クリアしたときの報酬・ご褒美的なものを見える化する。モチベーションやインセンティブへつなぐ。

【牧迫委員】

- ・方向性や概念は、非常に同感する。「3 世代でつないでいく」という大きなテーマがあり、着地点としては非常にいいだろう。
- ・課題は、やることの動機づけと、実感する効果。継続できて、やっていいなと感じるものがあるといい。

【藤本委員】

- ・この方向性は、大多数で受け入れられ、多くの人が課題と思っていることだろう。例えば、品川区には「おばちゃんち」という仕組みがある。ただし、自治体の単位で地域として一つにまとまってモデル化された事

例がないので、水俣で理想のモデルまでたどり着けるといいと思う。

- ・課題は、コミュニケーションの仕方・教え方のカバーだが、私の取組みの一つでは、退職をされた学校の先生に活躍してもらっている。

【勢一委員】

- ・基本的に「交流」が大切だというのは、非常に理解している。
- ・課題は、うまくやるための仕組みをつくること。何か目に見える目標があって、それをみんなでクリアしましょうというコンセンサスが必要。
- ・日常的にふらっと立ち寄れるような交流の場が、日常の生活の中では大切だと思う。(角打ち文化の例)

【水俣環境アカデミア（古賀所長）】

- ・場の雰囲気やセッティング次第ではいろいろなものができるだろう。伝えたいものと学びたいものが一致するところがセットできれば、やわらかい新たな場ができるだろう。

【石原委員】

- ・「美しい環境のもとで」という言葉は、「美しい」よりは「未来につながる環境」とか「命が育む環境」というように、ちょっと言いかえたほうがいいかなと感じた。

【植木委員（事前意見）】

- ・「交流」というキーワードに対し、リレー（渡す、繋げる）3世代で未来に渡したい、渡すことを見つけ、考えて一緒に行動するのがいいと思う。例えば、みなまた3代リレー、3世代三代で取組む○○○！、公表をして優秀な取り組みは表彰する。

(2) (仮称) 3世代育みタウンのコンセプトについて

【牧迫委員】

- ・マッチングポイントは、必ず子供と接点があるところという定義になるのだろう。“マッチングさせたポイントがいっぱいあるよ”というコンセプトにはすごく賛成で、いいと思う。

【松永委員】

- ・3世代というのは、すごくいいと思う。
- ・3世代というのは、単純に子供と保護者と高齢者というだけではなくて、ずっと未来につないでいくという意味だと思う。だから、「この年代が入っていない」と言うよりも、全ての世代がつながっていて、しかも未来に続いていくというイメージ。

【石原委員】

- ・「3世代育みタウン」は、3世代が育まれているように聞こえるし、同時に、3世代で次世代を育むというイメージにもとれて悪くない。
- ・未来に続いていくところや、未来に受け継いでいくという視点が見えるのはすごくいい。

【永松座長】

- ・コンセプトは、それぞれの世代に課題があって、それをうまく結びつけると子供のためにもなるし、お年寄りの課題解決にもなる、そういうマッチングの仕方を考えましょうという趣旨だと思う。
- ・「交流」というのは、短期的で、そのときそのときという視点であり、「リレー」というのは、もっと長いスパンでの世代間、あるいは違う人たちという、かなり視野が広い形での「つなぐ」意味がある。
- ・藤本委員が言われた「リレー」「つなげる」、世代間とか域内外につなげ

るという意味合いも含めるべきだろう。

- ・「3世代育みタウン」は、現在だけではなくて未来につなげていく、現在と未来のマッチングポイントという視点もあったほうがいいことを、石原委員が述べられた。
- ・「幸せに暮らす」という意味が入ったほうがいいだろうというご意見もあった。

(3) 子どもを介した仕掛けについて

【藤本委員】

- ・「次世代をつくっていく子供たちをみんなでこういうふう育てていきませんか」というように、主役を子供に絞ってしまう方がいいように思う。

【松永委員】

- ・仕掛けとしては、子どもに焦点を当てた方がいい。
- ・いろいろな事例を見ていても、子供を使うとみんな集まってくる。子供のためだったら頑張ってしまう気がするので、子供を介して、いろんな方向に展開できそうな気がしている。

【永松座長】

- ・今回の地震でも、避難所なんかで子供たちが掃除をしたり、無邪気に笑いながらおにぎりを配っている子供たちを見ると、疲れ切った大人たちも元気が湧いてくる。自分たちもやらなければいけないと思う。子供には不思議な力がある。子供自身の経験にもなる。こういうやり方は確かに非常に大事だと思う。

【石原委員】

- ・健康政策への取組みを、国立保健医療科学院でまとめたことがある。大人の健康行動を変えるときに、例えば、子供が学校で体にいいものを学んできて、その子が家でお母さんに話す、大人に話すということで、子供をまず教育し、そこから大人を変えていくというのが非常に面白い。それを応用して水俣でやってみたいと思う。
- ・メンタルな健康についても、水俣で誇りとアイデンティティーを持って

生きていけるように取組みたい。例えば、高齢のおじいちゃんに子供が「昔の水俣ってどうなの」って聞きながら、もしくは、おじいちゃん、おばあちゃんが「あんたたち、どんなことを学校で習っているんだい」ということを聞きながら、水俣病とか水俣に住む者としてのアイデンティティーみたいなことも含めて交流していけるような場があるといいと思う。

(4) 3世代を育む対象者について

【勢一委員】

- ・もっと広く人々が全部入るものがあると思う。子供を育むというのは、親以外の人たちがみんなで育てていくのがいいわけだから、単身者であっても、大学生であっても一緒に育んでもらえるというのが、多分この「育みタウン」の趣旨だと思う。
- ・高校生や大学生は、実働部隊になる。一緒に巻き込んでやれば、担い手の候補の一人になると思う。

【永松座長】

- ・元気でない高齢者は、入れなくてもいいのだろうか。よく考えると高齢者は、どこかしら病気を持っているので、どこまでが元気な高齢者か、わかりにくい。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんも保護者に入る。

【石原委員】

- ・例えば、「子供・大人・高齢者のマッチングポイント」というふうに一
般化してはどうか。

(5) 事例紹介

【松永委員】

- ・ 高校生が住んでいる地域の課題を解決するために、自分自身のプロジェクトをつくり、地元で実施する取組みがある。高校生と大人だけだと距離感があったが、大学生が入ることで少し気楽な関係を築けた。
- ・ 島根県海士町（あまちょう）は、過疎の島だが、高校生を軸にしたまちづくりをしている。高校の授業で地域に入り、漁業の話や昔の話を聞いたり、一緒に何かしている。そうすると、最初は、「そんなの、外がよく知らぬ地域から高校に入ってきて何の役に立つの」と言っていた人たちが、だんだん変わっていく。そこでよく、「大人が変われば子供が変わる。子供が変われば未来が変わる」と言われている。だから、子供をうまく使えたら、ほんとうに3世代がつながっていく気がする。

【牧迫委員】

- ・ 高齢者が集える場（スペース）を、市が「健康の自生地」として認定するしくみがある。市内に数十箇所あり、看板を掲げている。そこへ行くとポイントがたまり、年1回応募できる。自生地では何をするかは、自生地が自ら決めていく。

【石原委員】

- ・ 非行少年などもいる高校での取組みとして、地元の休耕田を地域のおじいちゃんと高校生と一緒に耕すことで、高校生も高齢者には悪いことができないし、孫の気持ちで温かく迎えてもらえると、心が育まれる。そして高齢者の方々も高校生がいると労働力になるし、未来を伝えていくということになる。さらに休耕田が復活するという、おもしろい取組み

がある。

【勢一先生】

- ・「姪浜西南大学まち」というプロジェクトで、大学生が商店街にボランティアとして参加している。例えば、その商店街にM's コミュニティとかいう名前の交流の場をつくって、そこでいろいろなイベントを企画している。

関心があるときだけそこに行けばいいという感じのこともやっている
ので、交流の場を考える上で参考になるかと思う。

【永松座長】

- ・社会において自分の考えやプランを実際にやってみる空間を与えると、今の若い人たちでも予想以上の力を発揮する。
- ・具体的に子供とか若い人たちにチャンスを与えるようなプログラムの提言も、この委員会で考えていいのかなと感じた。

(仮称) 3世代育み健やかタウンについて (案) 概要版

・ 本日は、めざす地域社会像の方向性（3世代を育む健康なまち、p2）を具体化するために、まず、(仮称)3世代育み健やかタウンの**コンセプトの決定**、次に、**ネーミングの決定**に向けて議論していただきたい。（特にp4参照）

めざす地域社会像の方向性

子ども・保護者・元気な高齢者の
交流は、みんなにいい（健康面での相乗効果）



3世代を育む健康なまちをめざす

(仮称) 3世代育み健やかタウン

(サブタイトル案)

- ・美健のまちみなまた
- ・いきいきみなまた



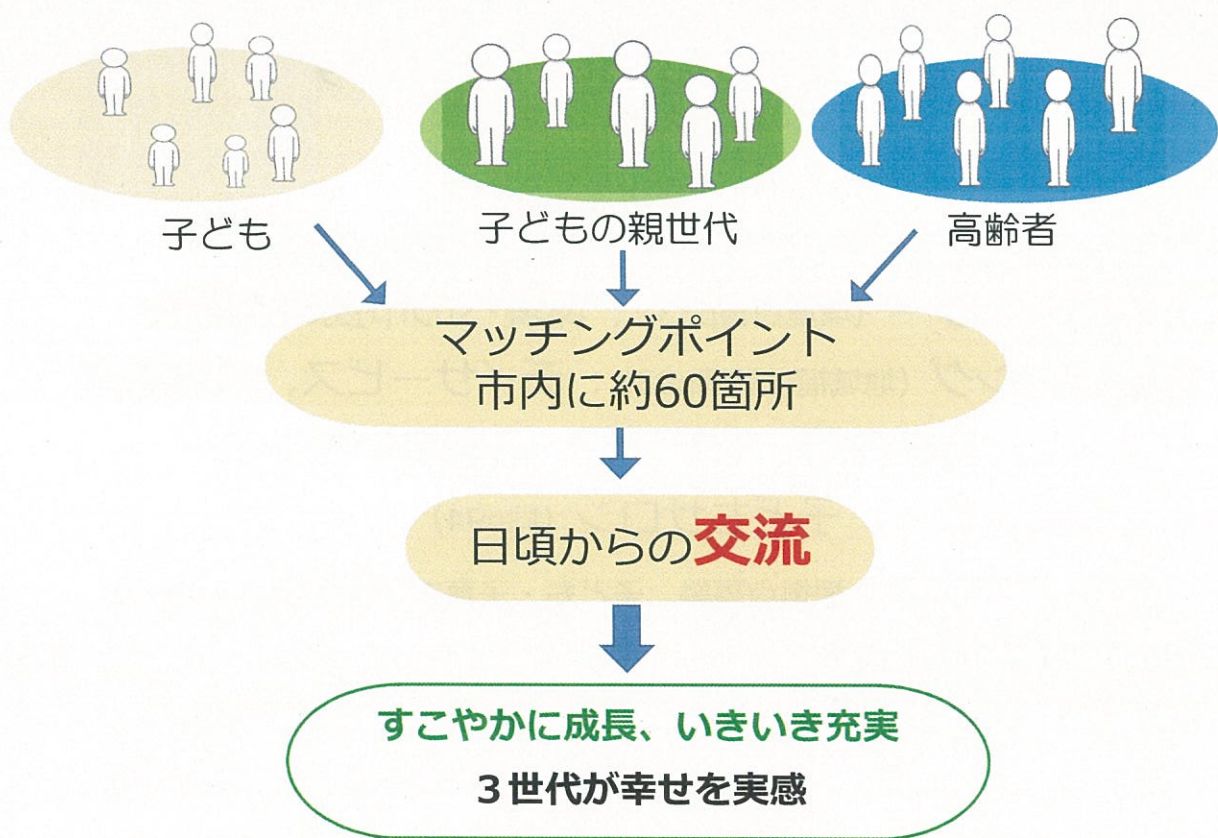
3

(仮称) 3世代育み健やかタウンのコンセプト(案)

例えば、**子ども**・その親世代・**高齢者**の交流の場が多種多様に設けられ、日頃から**交流**を重ねて子どもやその親世代が**すこやかに成長**し、高齢者の生活が**いきいきと充実**し、3世代が幸せを実感しながら、みんなの健康(心や体・社会的な健康)をより良く**育み**、未来につないでいくまち。

4

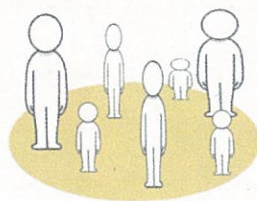
交流の場 = マッチングポイントの参考イメージ



みんなの健康を**育み、未来に**つないでいくまち

マッチングポイントの参考例

3世代交流の場



- ①遊び場：広場、公園、子どもセンター、保育園、幼稚園
- ②ふれあい：デイサービス、地域リビング、まちゼミ
本よみ場、茶のみ場、もやい館、ふれあいセンター
- ③ふ・ふ会（主夫・主婦向け）、夢語り8コマ劇場
- ④田舎体験予備校
- ⑤各種イベント会場

フューチャー
セッションで
のアイデア

7

水俣にあるものを活かす

場、人、しくみ

- 遊び場、広場、子どもセンター、保育園、幼稚園
- 環境マイスター（環境白書p33）、環境への市民の取り組み
- 地域リビング（地域福祉計画p93）、デイサービス、まちゼミ
- 本よみ場、茶のみ場、もやい館、ふれあいセンター
- 子どもセンター、子どもサロン（同p94）
（児童館、地域子育て支援拠点事業、子ども・子育て事業計画p27,43,44
地域福祉計画p66-67）
- 地域包括支援センター（包括的支援事業：地域福祉計画p58、
地域サポートセンター〈新規〉p59）

8

(仮称) 3世代育み健やかタウンについて (案)

○ (仮称) 3世代育み健やかタウンのイメージ

例えば、子ども・その親世代・高齢者の交流の場が多種多様に設けられ、日頃から交流を重ねて、子どもやその親世代がすこやかに成長し、高齢者の生活がいきいきと充実し、3世代が幸せを実感しながら、みんなの健康（心や体・社会的な健康）をより良く育み、未来へとつないでいくまちの姿。

各用語の定義は、以下のとおりとする。

・ 3世代

- (1) 3世代とは、胎児～高齢者まで、すべてのライフステージを対象とし、子ども・その親世代（胎児を含む）・高齢者の3つに大別する。
- (2) 3世代というのは、現在の3世代とともに、未来の世代にもつないでいくという意味がある。例えば、胎児は体内に卵子をもっているため、妊娠中の母親の生活が将来の3世代(母親・胎児・その子)を育むことになる。

・ 子ども

子どもとは、乳児期、幼児期、学童期（小学生6-12）、中高生（13-18）とする。

・ その親世代

その親世代とは、成人期（青壯年期：概ね19-39、中年期：概ね40-64、妊娠期）とする。

・ 高齢者

概ね65歳以上とする。

・ 交流の場（マッチングポイント）

交流の場とは、3世代の人たちが互いに行き来し、さまざまな物事のやりとりが行われる場をいう。水俣市内のあちこちに、水俣にあるもの（場、人、しくみ）を活かして、多種多様に設けられ、曜日や時間、内容が様々に用意されていて、コンビニのように好きな所をいつでも気軽に利用するイメージ。このような場を、交流の場（マッチングポイント）と称する。

* マッチングポイントの参考例

- ①遊び場：広場、公園、子どもセンター、保育園、幼稚園
- ②ふれあい：デイサービス、地域リビング、まちゼミ、
本よみ場、茶のみ場、もやい館、ふれあいセンター
- ③自主的な会：ふ・ふ会（主夫・主婦向け）、夢語り8コマ劇場
- ④田舎体験：
- ⑤各種イベント：まちゼミ、各種講座、各種祭り

・ 多種多様

多種多様とは、数や種類が多いさま、バラエティに富む状態をいう。

・ すこやかに成長（子ども）

すこやかに成長とは、子どもが安心して近所で遊べて、食事や睡眠の生活リズムが良くなり、心身ともに充実しつつ成長していることをいう。

たとえば、人との関わりの中で、愛情や信頼感、やさしさや思いやりを強く有し、地域での良い記憶や実体験が豊富になり、生活力も向上している状態をいう。

・ すこやかに成長（親世代）

すこやかに成長とは、子どもの親世代が一次予防として生活習慣の改善や健康増進に努めており、また二次予防として健康診断や保健指導を受診するなど、常に健康を意識しながら地域の担い手として成長していることをいう。

たとえば、地域での良い記憶や豊富な実体験、自主的な会への参加など、地域における連携を通じて、地域への愛着心を深め、生活の知恵が受け継がれている状態をいう。

・ いきいきと充実（高齢者）

いきいきと充実とは、高齢者が自らの健康に配慮しつつ、知識や技能、スポーツや趣味などを活かして、人の役にたち、居場所を見つけて、生きがいを感じていることをいう。

・ 健康

健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的に

も、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいう（日本 WHO 協会訳）。

・ 育み

育みとは、子ども・その親世代・高齢者が「交流」による相乗効果により、それぞれの課題（たとえば低出生体重児、子どもの肥満、生活習慣病など）の解消を図りつつ、健康（心・体・社会的な健康）を増進していること。

・ 健やかタウン

健やかタウンとは、顔の見えるコンパクトな環境のまちで、3世代の育みにより、幸せを実感しながら、みんなの健康（心・体・社会的な健康）を未来につないでいくまちをいう。

参考 法体系と水俣市の計画

根拠法	県計画	市計画	市計画	市個別計画	策定義務	計画年度	目的
【健康】 健康増進法8条2項 「市健康増進計画」	県健康増進計画	第5次 水俣市 総合計 画 H26～ 29	水俣市健康増進計画 (第2期)		努力	H25～29	生活習慣病の予防
【福祉】 社会福祉法107条 「市地域福祉計画」	県地域福祉支援計画		水俣市地域福祉計画 (第2期)		任意	H27～32	孤立者支援
【高齢者・介護】 老人福祉法20条の8第1項 「市老人福祉計画」 介護保険法117条1項 「市介護保険事業計画」			ひまわりプラン	義務	H27～29	自立支援	
【障がい者】 障害者基本法第11条3項 「市障害者計画」 障害者総合支援法88条 「市障害福祉計画」			水俣市障がい者計画	義務	H27～32	自立支援	
			水俣市障がい福祉計画 (第4期)	義務	H27～29	自立支援	
【子ども】 子ども・子育て支援法61条 「市子ども・子育て支援事業計画」			子ども・子育て支援 事業計画	義務	H27～31	地域全体で健やかな 育ち、子育てを支える	
【食育】 食育基本法18条 「市食育推進計画」	県健康食生活・ 食育推進計画		水俣市食育推進計画		努力	H27～29	

めざす地域社会像について（案）

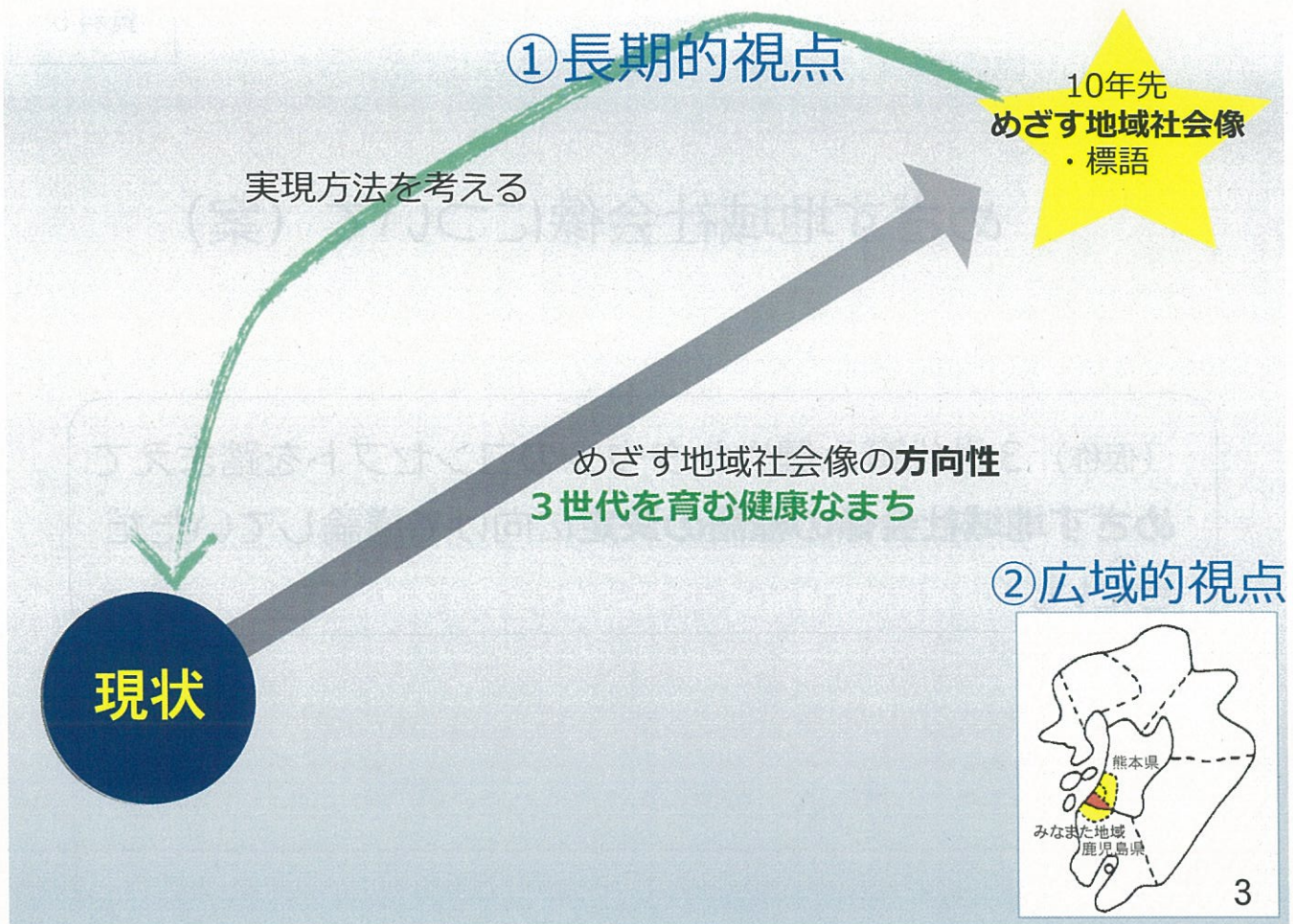
（仮称）3世代育み健やかタウンのコンセプトを踏まえて
めざす地域社会像の標語の決定に向けて議論していただ
きたい。

本研究会における**地域創生**とは

いまだに水俣病の影響が続いている一方、
地域社会の変化・ライフスタイルの多様化が著しい中で
長期的・広域的視点から、地域にあるものを活かして
めざす地域社会像(ビジョン)を実現すること

再生 = 社会拡大期、短期的・市町ごと、無いものねだり→登山

創生 = 社会・人変化、長期的・広域的、あるものを活かす→下山



めざす地域社会像の標語（案）

【内向け】

①住民が、世代を超えた健康まちづくりを拡充し、
美健のまちとしての歴史をつくっている姿

【外向け】

②まちが、美健のまちの魅力と実現までの過程を
国内外に伝えている姿

（魅力：ギャップを埋めて、美しく健康なまちを実現）

（過程：水俣病～もやい直し～環境都市～3世代育みタウンへ）

標語について意見交換

- (1) 標語は、2つの視点でよいか？
- (2) 美健のまち（美しい環境と健康のまち）に関して
 - ①他にも考慮すべきまちの像があるか？
 - ②美健以外の言葉があるか？